Case 6

南大沢コミュニティオペラ『こうもり』と『魔笛』の衣装制作

オペレッタ『こうもり』ロザリンデの衣装

オペラ『魔笛』の大司祭のザラストロ、弁者、僧侶の衣装　撮影：長澤直子

南大沢コミュニティオペラの方針

公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団が企画・主催し、舞台芸術の普及や若手の養成を目的としてプロ・アマチュア・学生・市民を問わず、地域に根ざしたオペラ活動をしています。本研究室では6年前から参加し、今年は『こうもり』を、昨年は『魔笛』の衣装をデザイン・制作および管理を担当しました。

教育のねらい

①演出家等に的確なプレゼンができること
②制作・練習等の日程計画や自己管理ができること
③トラブルに対して解決・対処ができること
④社会的なマナーを身につけること
⑤積極的に参加し、学年を越えた繋がりを深めること

衣装制作の流れ

7月頃にキャストが決まり、衣装デザインを演出家と打ち合わせます。8月に学生がデザインを考えて生地サンプルを集め、9月に演出家や財団のスタッフにプレゼンテーションを行ってデザインが決定 します。10月から12月は材料を調達し、製図、裁断、仮縫い、フィッティング、補正、本縫い、仕上げになります。 1月中旬には場あたり、ゲネプロがあり、ステージ上の衣装を確認して公演当日を迎えます。

プロジェクト概要

●テーマ
南大沢コミュニティオペラ『こうもり』と『魔笛』の衣装制作

●パートナー
公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団

●担当教員
富田　弘美 准教授

●実施期間
2017年4月～2018年3月『魔笛』
2018年4月～2019年1月『こうもり』